

学校教育目標

- ◎ 一人ひとりを大切にしたい教育を行い、地域とともに歩み、自立と社会参加を目指す教育を充実させます。(開校宣言)
- 一人ひとりに応じた学び、コミュニケーションを大切にしたい教育を行います。(知)
- 一人ひとりの自他を大切にしたい気持ちや態度を育てる教育を行います。(徳)
- 一人ひとりの体と安全を最優先した教育を行います。(体)
- 一人ひとりの社会の一員としての気持ちや態度を育てる教育を行います。(公・開)

赤字：子供の声や意見の反映

青字：データ・ICTの活用

二重アンダーライン：R7からの修正箇所

学校概要	創立 14 周年	学校長 瀧田 美紀子	副校長 小滝 愛子 竹田 智之	学期制	2期制		
	幼児・児童・生徒数: 152 人	幼稚部: 人	小学部: 32 人	中学部: 20 人	高等部本科: 100 人	専攻科: 人	

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

(他者と)伝え合う力
(自分を)知る力
(自分で)考える力
(自分で)選ぶ力

育成を目指す資質・能力を踏まえた
「(12)(3)年間で育てる子ども像」と具体的取組

自分のキャリアを自分で選び、自分で決めることができる子ども

A部門：自立を目指して、自分の思いや考えを自分なりの方法で伝える力を身に付けた子ども。

B部門：自立と社会参加を目指し、コミュニケーション力、特に相談する力を身に付けた子ども。

- ・キャリア発達支援を教育活動の柱となるように**キャリア・パスポート、キャリアデザインシート等の充実**を目指す。
- ・**意思決定につながる「自分で選ぶ」「自分で決める」学び**を全教職員が意識して取り組む。
- ・インクルーシブな学校運営モデルにつながるよう両部門の交流、学び合う、教え合う場面を増やす。

中期取組目標

- チーム力を発揮し学びを充実させます。
- ・個に応じた指導を充実させ、**自分の考えをもち、自分らしい表現をする力を育てます。**
- ・個に応じた健康・体力の維持、増進を目指すことを通して、個にあった健康・体力の向上を図ります。
- ・対話や主体的な学びの場を増やし、**児童生徒のコミュニケーション力を向上させ、個々の目標達成に適切な支援を行います。**
- ・多くの人とかわかり、自分の好きなことやできることを増やし、得意なことを伸ばそうとする姿勢を育てます。
- ・地域での活動、交流及び共同学習の場を多く経験させることを通して、自他を大切にしたい気持ちや態度を育てます。

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①個別の指導計画やキャリアデザインシートに本人・保護者の思いを反映し、将来の自立に向けた個に応じた指導を充実させる。②一人ひとりの特性を理解し、身に付けさせたい力を明確にした授業を充実させる。③対話的で主体的な学びを通して自己表現力向上を目指す。
徳	交流教育	①校内の交流教育活動を充実させる。② 児童生徒が主体となった行事の企画や交流を推進する。 ③学校間交流、地域交流、副学級交流を通して、育ちあう力の育成を推進する。④インクルーシブモデル実践で新しい交流・共同学習の在り方を研究する。
体	健康安全教育	①自立活動等を通して、自分自身の身体意識を育て、心身の健康について考える力を育てる。②安定した健康状態で授業に臨めるよう環境等を整備する。③集団生活におけるルールやマナーの理解を高め、友達と協力して安全に活動できる力を育てる。④ いのちの安全教育の充実を図る。
公 開	自分づくり教育	① キャリア発達を支援する教育活動(キャリアパスポート・キャリアデザイン相談会)等を充実させる。 ②経験を 通して 自分のことを伝える力、理解する力、考える力、選ぶ力など、意思決定の基盤となる力を育成する。 ③保 護者と連携しながら系統的、計画的な進路指導を行う。
いじめへの対応		①体罰や不適切な指導を防止したり、いじめへのアンテナを高くし、常に児童生徒の人権が尊重されるようにする。②いじめ防止対策委員会を月1回開催し、情報を共有するとともに、チームで迅速な対応を行う。③ SCの活用、いじめアンケート、面談等を通して、児童生徒の思いを知り寄り添った指導を行う。
地域学校協働活動		①社会参加につながるように、「地域で学ぶ、地域と学ぶ」を教育活動の場に多く取り入れる。②学校と地域と協働での活動を推進する。③意思決定支援フォローアップ育成を協働で行い、若葉台地区における意思決定支援事業の充実、発展を図る。
情報教育 GIGAスクール推進		①学校図書館の計画的な活用と読書活動の充実を図る。② 一人一台端末、クラウドを効果的に活用し教育内容、活動を充実し、授業で児童生徒が活用する場面を増やす。 ③ 視線入力、ニューロノード等の効果的な活用等、児童生徒一人ひとりの特性に応じた指導を行う。
センター的機能		①特別支援教育コーディネーターを中心に巡回支援や研修の提供などを行う。②他機関との連携、協働を通して障害理解や啓発を行い、障害のある方の社会参加に貢献する。③ インクルーシブな学校運営モデル事業として、カリキュラム・マネージャーを中心に小・中学校特別支援教育の充実を支援する。
人材育成・組織運営(働き方)		①ステージに応じた研修を推奨し人材育成を充実させる。②肢体不自由教育、知的障害教育の専門性が高まるよう校内研修を充実させる。③主幹会と学部長会で校内組織について検討する場を設け改善につなげる。④ Teams活用による会議等運営改善を行い、働き方改革につなげる。
担当		